



# 第1会場●4F 大研修室

■司 会／松尾 透 長崎市野母崎行政センター 主査  
上原眞寿枝 生涯学習インストラクター

## 1 青少年の社会参画・体験スタジアム：チャレンジ！「からつば」 10:45～11:10

八島 大三（佐賀県唐津市） 唐津市教育委員会生涯学習課 社会教育主事

小中学生35名、高校生、大学生、大人35名、世話人10名で構成する青少年の社会参画を推進するグループ。都市コミュニティセンターを拠点として、毎週土曜日の定期活動、5泊6日のキャラバン隊、シンポジウムの開催など年間を通じた異世代間の交流と子どもの居場所づくりを実践した。

## 2 NPOコーチズによる健康促進、雇用増大、青少年支援など多目的な生涯学習実践 11:10～11:35

児玉 宏（広島市） NPOコーチズ 代表理事・コーディネーター

法人の目的はあらゆる世代を対象としたスポーツの啓発・普及活動である。具体的には、指導者の派遣、健康づくり運動教室の企画開催、特別プログラム「座・ソーラン」などの創造である。特に、高齢者に対しては力点を置き、「生活の質の向上」→「医療費削減」を目指している。同時に、元暴走族少年たちの経済的自立と社会性の構築、人間関係づくりもねらいとしており、青少年が高齢者をケアすると同時に、高齢者が青少年をケアする場にもなっている。

## 3 市民中学「ひまわり学級」の学社融合 11:35～12:00

太田 康子（北九州市） 北九州市立光貞市民センター 館長

中学校と隣接した地の利を生かし、成人市民が中学校の各種教科；歴史、国語、社会、理科、家庭科、英語、数学、パソコンなどを通じた往年の中学生回帰の実験。学校側の全面的協力を得て、校舎内の教室を活用し、年間を通して、中学校教員の指導を受ける。学校との交流は生徒はもとより、教職員との心理的距離が近くなり、学校に対する受講生の理解も格段に進んだ。成果は公民館の文化祭にも還元され、学校側からの地域人材の紹介依頼を機に学社のつながりは更に深化する。

## 4 総括討論 12:00～12:30